

**DRAMMING**

**BLOCK**

ACID FREE

---

---

江戸の地図と今の地図

---

---

染井村を比べたよ。

---

---

田中 励 旻

---



4979093000234

F8 S88

maruman®  
<http://www.e-maruman.co.jp/>  
MADE IN JAPAN

。きっかけ

僕が好きで読み進めている本があります。那須正幹さんイ作の「お江戸の百太郎」「銀太捕物帳」シリーズです。

この本では言葉で本当にあった江戸の町、道、文化の説明もあります。物語は江戸時代です。あるお話の中に「植籠」という植木屋が出てきました。染井にある植木屋の設定です。

染井は、僕の住んでいる場所なのでとても気になり、今の町と江戸の町を地図で比べてみたいなと思いました。

## 調べる事から

(1) 今あるものが江戸の地図にのっているか？

(2) 僕の家は江戸の地図でどの辺り？

(3) 本の中の「染井に出かける千次と銀太」の道をたどってみる。

(4) 今の地図と江戸の地図を比べてみて分かる事は？

(1) 今あるものが江戸の地図にのっているか?

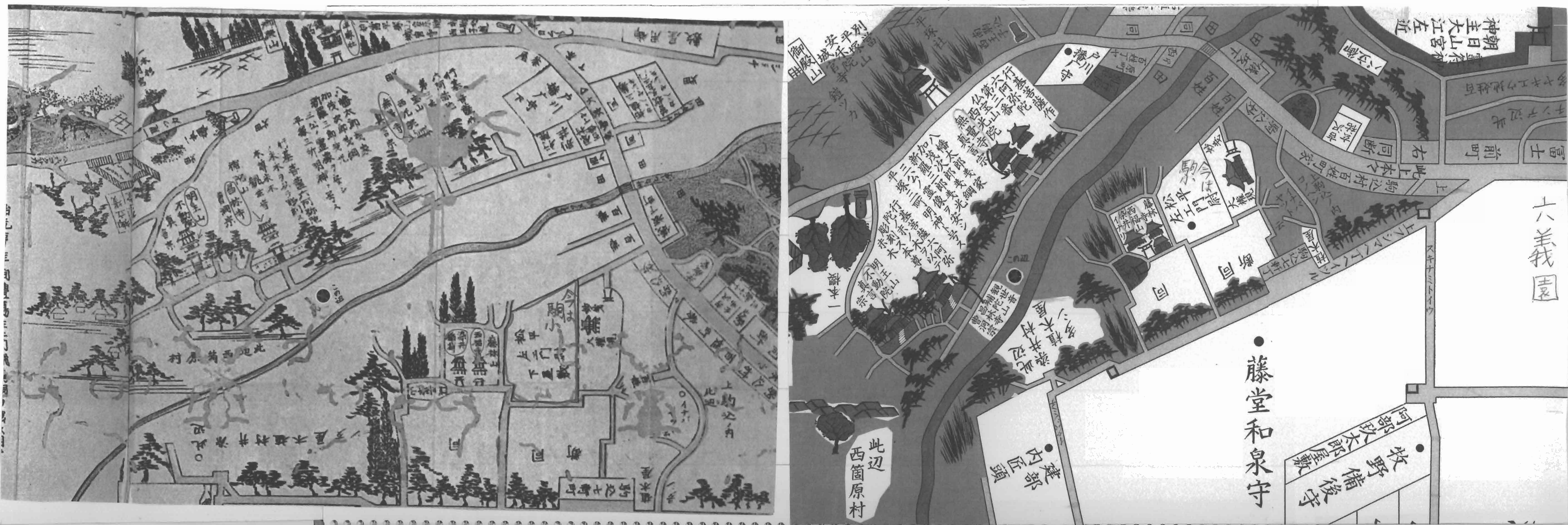
	僕の予想	結果	
六義園	ありそう	○	江戸の地図で「松平時元助」とある。この庭が六義園(柳沢家下屋敷)が当時の当主の名前。木松平左衛門尉の抱屋敷でした。
駒小	ない	×	
門倉の公園	ありそう	△	門はもと藤堂家下屋敷の裏門。倉は昭和11年築のもの。
染井霊園	ありそう	×	播川村木田藩建部家への屋敷でした。
女小義神社	ありそう	○	妙義大木権現のこと。
染井神社	ありそう	○	江戸のころ染井神社の中に西福寺があった。明治のころ堺でへだてられた。
西福寺	ありそう	○	西ヶ原村の無量寺に所属していた。
染井商店街	ない	×	川でした。



(2) 僕の家は江戸の地図でどの辺り?

。今もある染井ネ申社と昌林寺、それと川から位置を予測する。

染井ネ申社のわきの坂を下り、川を渡って向う側。ちょうど江戸の地図の権見世昔と書いてある右側の辺り。田とある。





(3) 本の中の「染井に出かける千次と銀太」の道をたどってみる。(→)

湯島のネ申田明ネ申のそばから日光街道を北にたどり、八重屋おとて  
有名な駒込の吉祥寺①を右手にみながら坂道をのぼるといけば、やがて  
左手に木公平カノ賀守様②、つづいて藤堂和泉守ネ申の屋敷③が見えて  
きます。藤堂様のお屋敷の角で街道をそれて屋敷のへいにそった道を西に  
すすむと道の反対側に柴垣にかこまれた植木屋の敷地④が見  
られるようになってきます。(略)ここあたりは台地の尾根筋で北の  
谷筋をはさんだむかしの山は桜の名戸介の飛鳥山⑤です。飛鳥山の台地の尾根

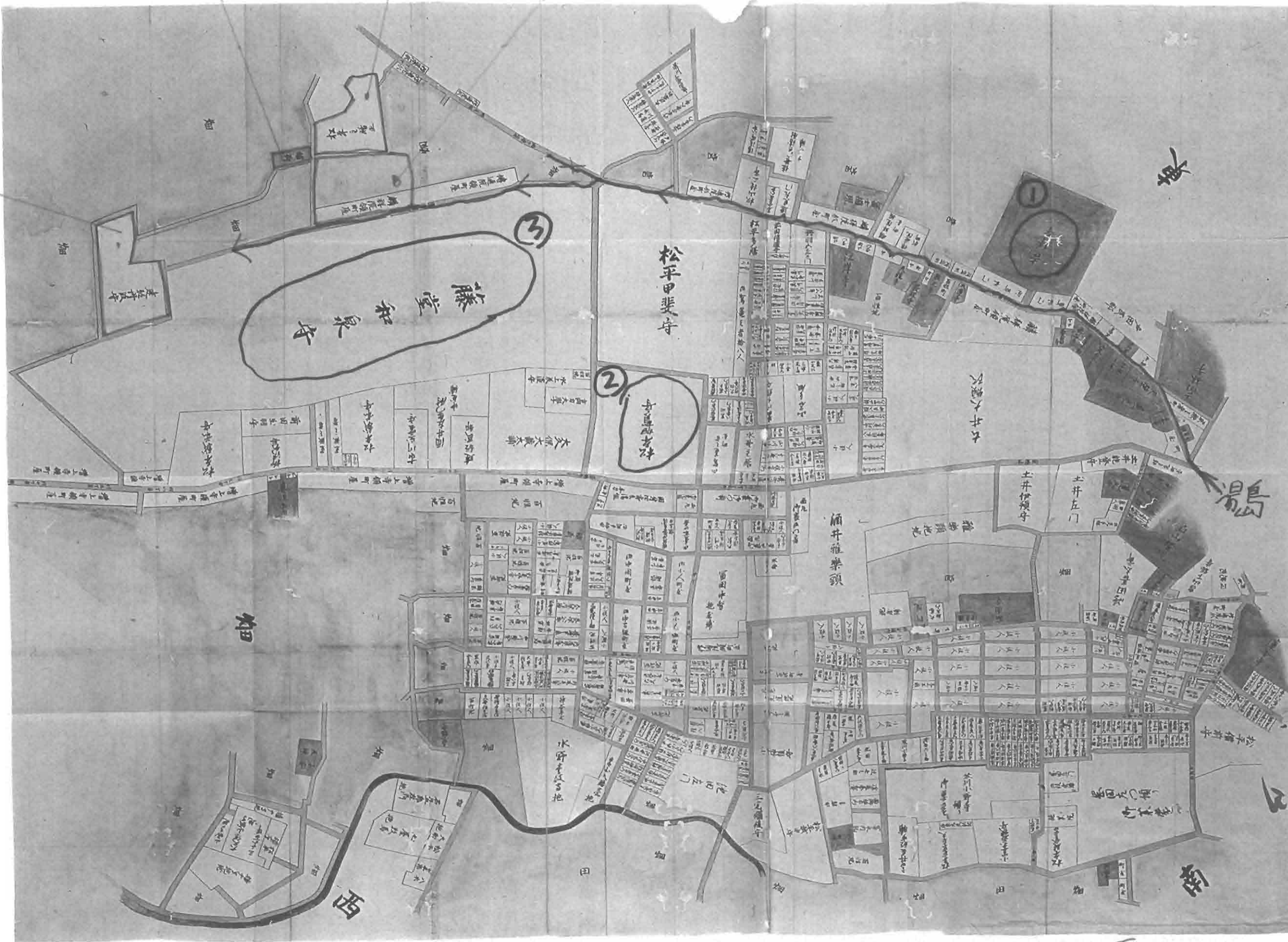
から、もとの谷筋一帯は、上駒込村という産地ですが、藤堂様の道筋のまい町屋たゞりが

駒込七軒町⑥という町人地になっていて、俗に染井七軒田ともよばれていました。

「本文より」

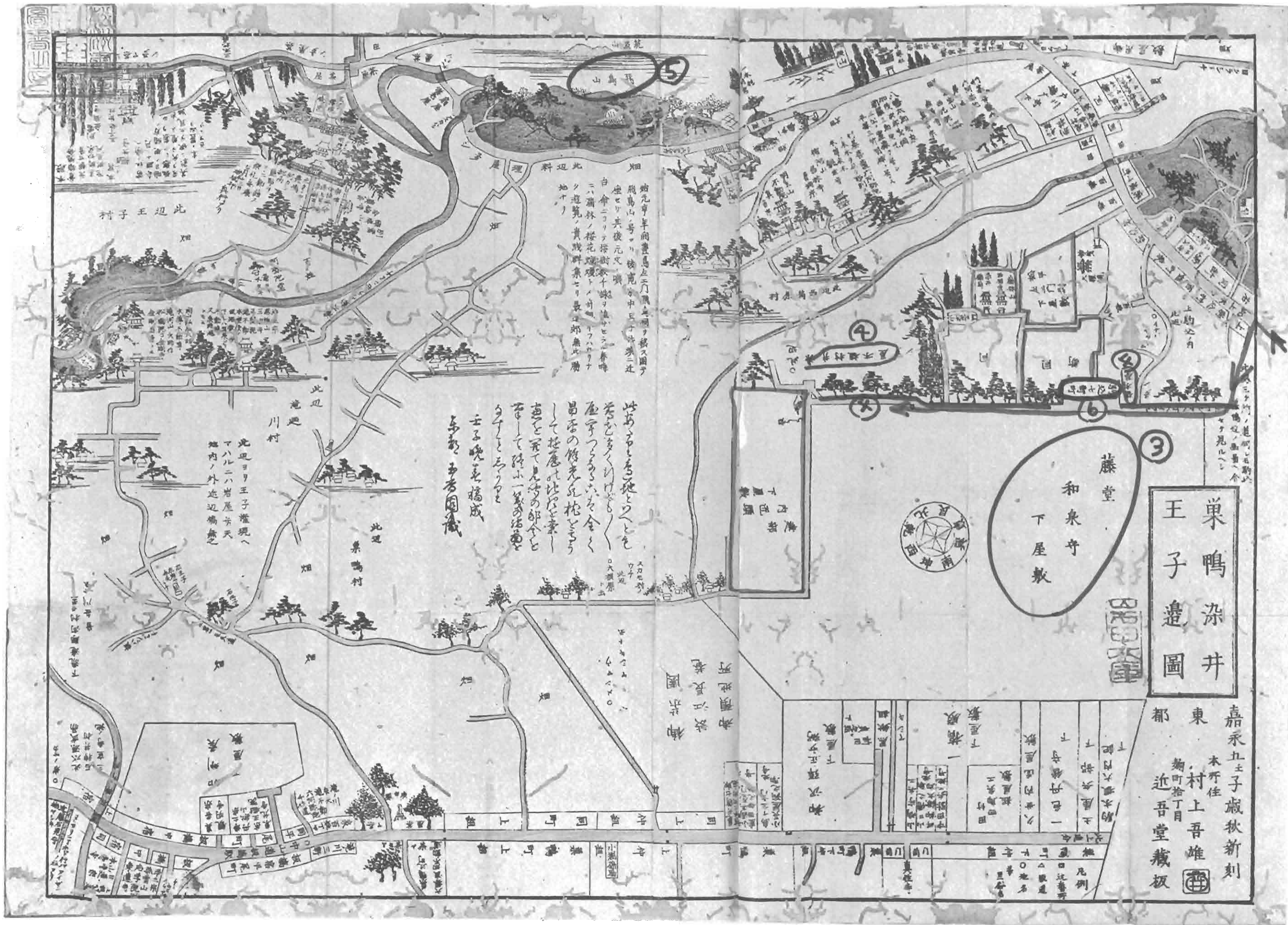
染井ネ申土 今の馬匂小 門と倉の門

今の  
染井靈園



1789年〜1800年  
の地図では





奥州奥州新圖  
藤井 鴨 沼 井  
王子 遺 圖

嘉永九王子殿秋新刻  
東 本行住  
村 上 吾 雄  
都 近 吾 堂 藏 板

藤井  
和泉寺  
下屋敷



此元中半間置馬左門前と開テ候ニ因テ  
船馬山等ニテ檢査中ニテ其ノ近  
座ニテ其後元又候  
白命ニテ其後元又候  
三浦林ノ桜花畑等ニテ其ノ近  
ク遊覧ノ貴族ノ來ニテ其ノ近  
地ナリ

此ありともは従とて  
そのとくりけりとも  
屋宇つらなりとも  
弟舌の條老元松とも  
一々花屋は比治とも  
古とて其の部今と  
石一にて其の部今と  
白くとも

此地ヨリ王子権現へ  
マハルニ岩屋宇天  
地内ノ外迄迄無之

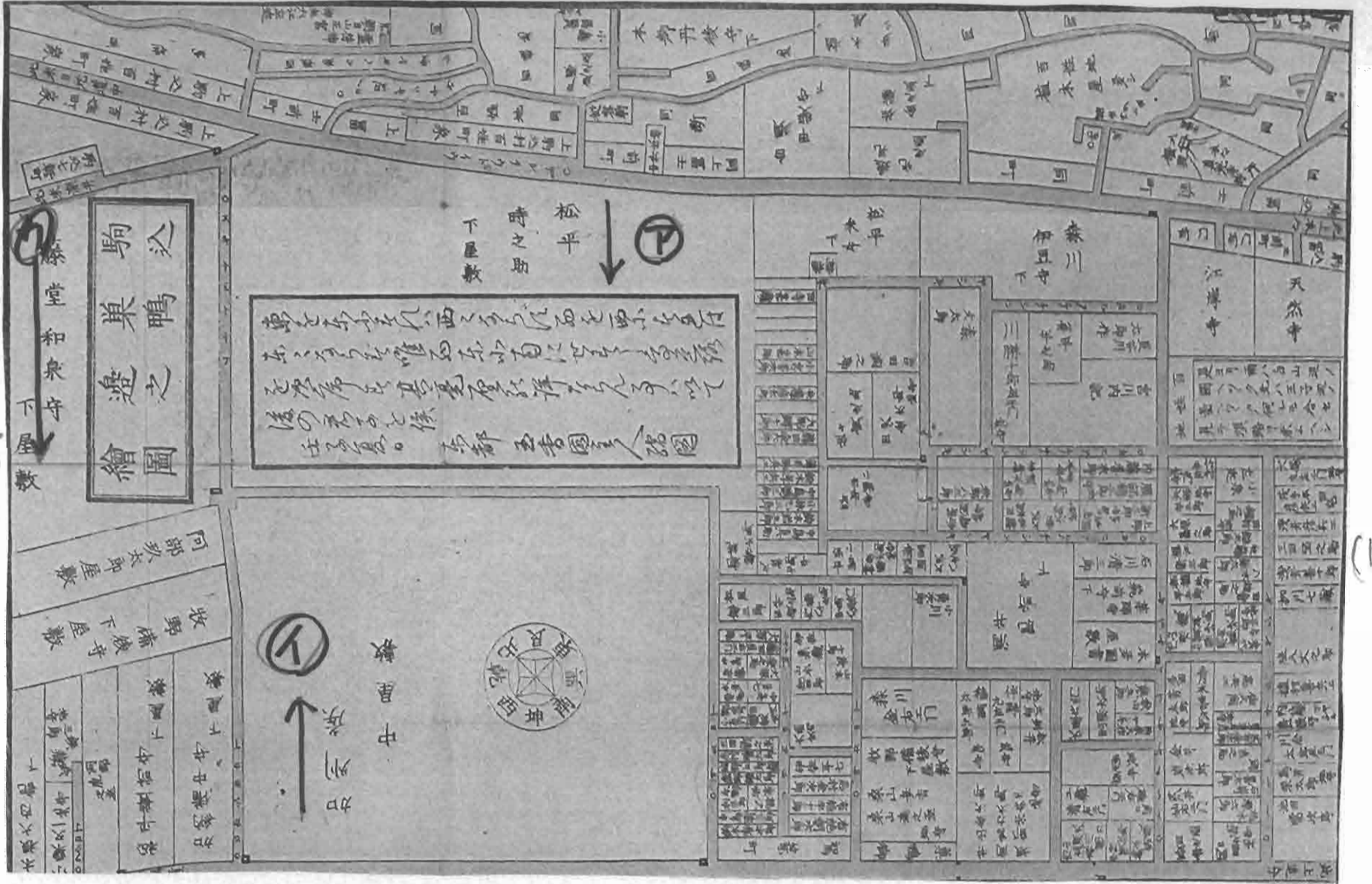
(1852年の地図では)



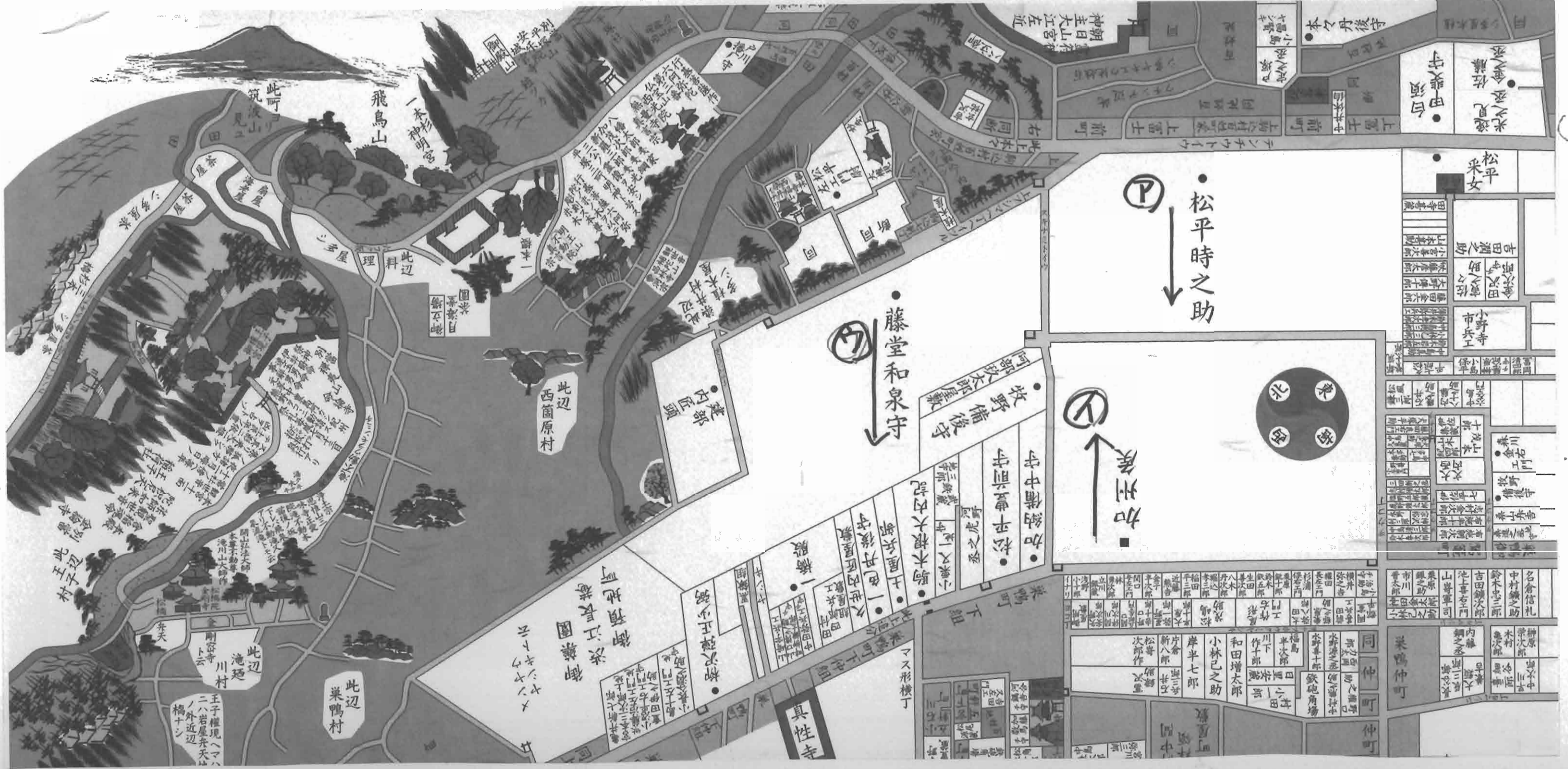
(1) 今の地図と江戸の地図を比べてみて分ける事は?

- 今の地図とちがって江戸の地図は距離感がわかりにくい。
- 江戸の地図は文字だけのものと、糸会が描かれているものがある。糸会があるとよりわかりやすい。
- 今の地図は北を上に表示しているが、江戸の地図は決まりがない。
- 江戸の地図は文字の向きがバラバラです。でも地図に書かれている名前は全てその家や屋敷の正門や入口から見た向きに書かれているからだとわかりました。

2枚の地図を比べると、どちらの文字は同じ方向に書かれている。



(1852) 年



(1854) 年





① 一里塚

（当時の現存の位置といえる。）



② 平塚神社

③ 無量寺



④ 明王山不動院



⑤ 昌林寺

⑥

日木支子神社



⑦ 染井稻荷神社



⑧ 西福寺

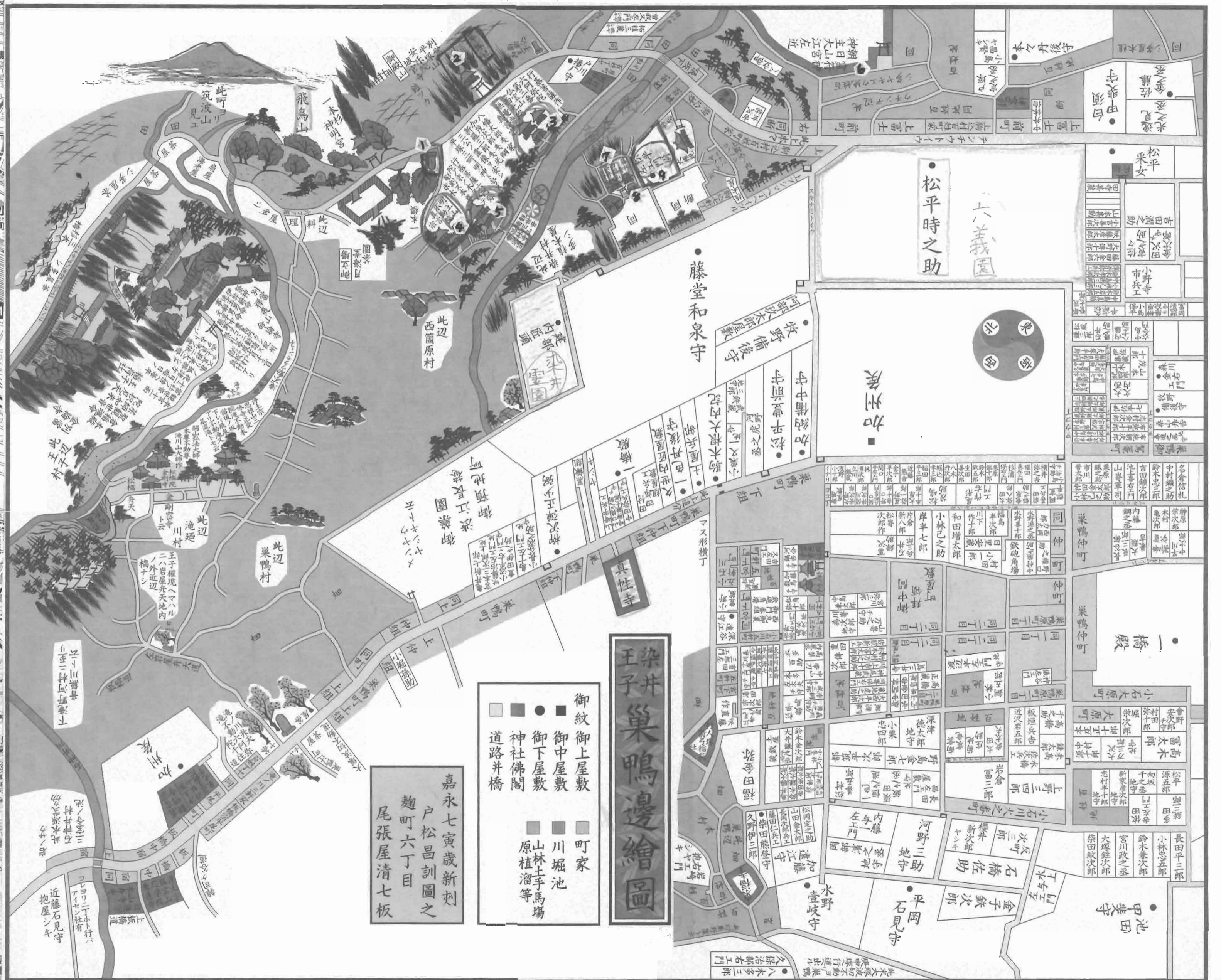
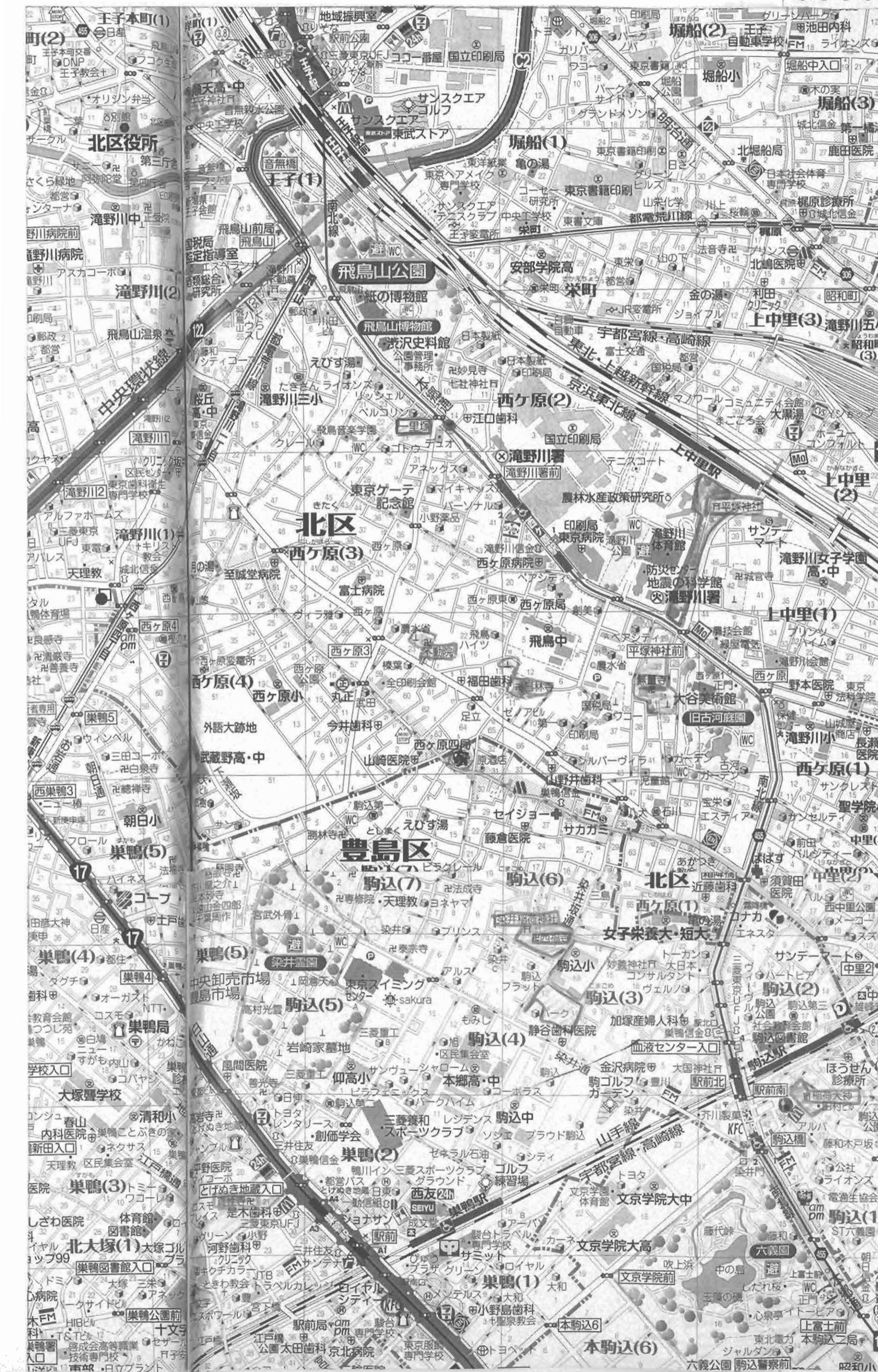


（加賀の伊兵衛の墓がある）  
吉屋の植木  
宗吉の墓

⑨ 門と倉の広場







- 町家
- 川堀池
- 山林土手馬場
- 原植溜等
- 御紋御上屋敷
- 御中屋敷
- 御下屋敷
- 神社佛閣
- 道路并橋

嘉永七寅歲新刻  
戸松昌訓圖之  
麴町六丁目  
尾張屋清七板

王子巢鴨邊繪圖

松平時之助  
六義園

藤堂和泉守

加

橋殿

池田

石見寺

水野

壹岐寺

石橋

河野

金子

石橋

石橋

石橋

石橋

石橋

石橋

石橋

石橋

石橋

石橋

石橋

石橋

石橋

石橋

石橋

石橋

松平

采女

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街

市街



## 【まとめと感想】

- しもふり染井商店往りが川だったと知って、とておどろいた。
- 思ったよりも昔の地形、道が残っていた。
- 沢山あ、た植木屋はどうな、たのか不思議に思う。
- 江戸の地図にのっているような土場戸所に住んでいると思うと言誇りに思う。

## 参考資料

・銀太捕物巾着 お江戸のかぐや姫 (那須正幹・作)

・東京史跡ガイド⑭ 豊島区史跡青芝 (伊藤栄共, 堀江康司・作)

・豊島区史地図編上 (豊島区史編集委員会・作)

——上記3点 北区中央図書館

・街の達人コンパクトでかき集めた 便利情報地図 (昭文社)

・「染井環・巢鴨辺糸会図」江戸七ヶ糸会図 尾張屋板復表り (いせ松)

・ <http://jinjajin.jp/modules/newdb/detail.php?id=53>

・ <http://www.city.kita.tokyo.jp/mic/history/history/da01.htm>



・ <http://blog.goo.ne.jp/benten439/e/e4c413b93c0be7d186ca20d8b89d2bd6>

---

・ <http://ja.m.wikipedia.org/wiki/%E5%B9%B3%E5%A1%9A%E7%A5%9E%E7%A4%BE>

---

参考方冊<sup>凡</sup><sub>口又</sub>

---

・ 門と倉のある<sup>日</sup>土場、西福寺

---